

発行/NPO法人

市民活動サポートセンターいなぎ

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話 042-378-2112

FAX 042-378-6971

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

サポートセンターと
講演会や講座を
共同企画・共同運営

共催相手が決定

市民活動サポートセンターでは、今年度からNPO団体や市民活動団体などと一緒に講演会や講座を企画運営する事業を始めました。

今年度は、6月に応募のあった、いなぎ社会福祉士会と特定非営利活動法人支え合う会みのりが、一緒に事業を進める共催相手として決定しております。

そのうち、いなぎ社会福祉士会についてはすでに7月26日に講演会を実施しておりますので、その概要を右に紹介します。

支え合う会みのりについては9月13日に講演会を予定しておりますので、ぜひご参加ください。(詳しくは4ページをご覧ください)

● 市民活動団体とサポートセンターとの 共催事業 ●

地域に暮らす 地域で支える 自分らしく生きるために

～地域医療と福祉の連携～

高齢者医療や地域の医療実情に詳しい医療法人財団天翁会の天本宏理理事長を講師に迎え、7月26日に講演会が行われました。

講師の天本先生は、多摩市の天本病院で長年高齢者の医療や介護にかかわってきた方です。当日は高齢者はもとより、その家族、福祉施設の職員のみなさんなど、多くの方の出席がありました。

今回のテーマは高齢になっても地域で暮らしていくために



は、医療はどのようであったらいいのかということですが以下にその要点を紹介します。

◆ ◆
現在も高齢者の施設づくりは進んでいます。しかし、施設はみな同じ生活を強いられたり、生かされた状態にいるなど、問題が多く限界もあります。そこで地域でみていくことが重要になってきています。

◆ ◆
これまでの医療は病院の中で完結していました。これから地域を病棟として捉え、病院を基地にして病院から出動

するよう
な仕組み
に変えて
いかなけ
ればなり
ません。



▲講師の天本先生

また医療単独ではなく、保健、医療、介護、福祉を組み合わせたサービス複合システムをつくって、利用者本位で地域内完結型の医療を目指しています。

◆ ◆
このような仕組みを作るときに大切なのは、その人らしく生きるという自由を尊重してあげることです。高齢期の物事に束縛されない自由があるのが生きがいにつながるのですから、人生は「老年期」があつて完成します。

◆ ◆
そのために最も優先すべき理念はその人の尊厳を守ってあげることです。

◆ ◆
天本先生の話は、長年の経験から裏付けられた含蓄のある内容で、しかも、重くなりがち内容も人を飽きさせない話し方で、予定時間があつという間に過ぎてしまいました。

(川本)

●市民活動支援基金による 助成団体が決まりました。

- ①＝助成の種別 ②＝助成額
③＝基金の資金提供先
④＝団体紹介

今年度の助成団体を決めるための審査会が6月6日に開かれ、申請のあった5団体すべてに対し助成することが決まりました。

ただし、助成額は予算の都合もあり、すべての団体に要望通りというわけにはいきませんでした。

不足分については様々な方法で自分たちで補いながら、ぜひ有効に活用していただきたいと思います。

なお、助成期間は本年6月から来年3月までです。

■NPO法人発見工房クリエイト (代表 泉田賢一さん)

- ①ステップアップ助成 ②50,000円
③NPO《子どもの森》芸術文化振興基金
④子どもたちにより広く科学体験をしてもらうために1999年9月に発足。現在は城山体験学習館で、「おもしろ科学教室」を開いていますが、今回の助成金は、市内での活動をさらに広げるため、各文化センターでの科学教室開催のために使用される予定です。

NPO《子どもの森》 芸術文化振興基金

とは

この団体は、代表を荒木重雄さん、専務理事を角田亨さんが務めています。

地域の活性化と教育力の充実をめざし、子どもたちの芸術文化活動および健やかな育ちの環境づくりに寄与する芸術文化の振興を目的に設立されました。

その目的を実現するため、様々な事業を主催しているほか、支援事業や委託事業を行っています。

基金による助成もその活動の一環で、該当する団体には、この基金から直接団体に助成金が支払われます。

■いなぎおはなしの会 (代表 高橋公美さん)

- ①ステップアップ助成 ②30,000円
③NPO《子どもの森》芸術文化振興基金
④おはなし(ストーリーテリング)を通じて、子どもたちに生きる勇気を与え、また、本好きな子どもになって欲しいと1997年に発足。現在は、中央図書館や第四小学校で定期的におはなし会を行っている他、要望に応じ、保育園、幼稚園、学童クラブなどへも出前を行っています。今回の助成金は、会員のスキルアップと興味のある方を育てるための講座開催のために使用される予定です。

■ガールスカウト東京都第136団

(代表 若林美千代さん)

- ①ステップアップ助成 ②50,000円
③NPO《子どもの森》芸術文化振興基金
④ガールスカウト活動を通じて地域の子供たちに様々な経験の場を与えるため1975年9月に発足。一時は団員が減って廃団の危機にありましたが、最近は再び活気を取り戻してきています。今回の助成金は、活動の最も大事な備品である野営テント購入費の一部に充てられる予定です。

■傾聴ボランティア りすなー

(代表 鈴木佐登子さん)

- ①スタート助成 ②20,000円
③NPO《子どもの森》芸術文化振興基金
④傾聴活動を通して、ともに楽しく、有意義な時間を共有し、互いに助け合うことを目的に2007年10月に発足。月に1回～2回施設を訪問し、ボランティア活動を行っています。今回の助成金は、会員のスキルアップのために行う講座の講師謝金などに使われる予定です。

■稲城なごみの家 (代表 吉本渥子さん)

- ①スタート助成 ②30,000円
③サポートセンター市民活動支援基金
④高齢者を中心に、みんなが楽しくすごせる場づくりと、将来的には介護保険事業活動を目指して2007年10月に発足。今回の助成金は、現在の活動をさらに発展させるための備品購入のために使われる予定です。

六月

「貴金属のつぶやき」

話し手：山本 和正さん

私たちは、貴金属というと金や銀を思い浮かべます。それらは加工がしやすく変質しにくいので、昔は芸術的価値が重視されていました。現在では工業的価値が重視され、様々な種類の金属が多様な工業製品を作るために使われています。

それらを再利用する技術も進んでいて、パソコンや携帯電話などの廃棄物を鉱山にたとえて都市鉱山とよんでいます。低コストでうまくリサイクルするとやがては山を掘らなくてもすむようになるそうです。

普段何気なく生活している私たちの社会も、金属という視点から眺めてみると、これまでとは違った姿が見えることが分かりました。そして最後のコメントが印象的でした。「今の世の中面白い話がいっぱい転がっているので、皆さんも興味を持っていろいろな事を見ると面白いですよ。」

(川本)

七月

「もっと使おう
太陽エネルギー」

話し手：高野 達男さん

高野さんは27年前からSUN・SUNと降り注ぐ太陽エネルギーを積極的に利用し、日々の生活の中に生かしてきました。自然エネルギーを活用した生活は、環境に良いだけでなく、石油等の燃料価格が高騰し、生活を圧迫している昨今、家計費の節約にもなります。

今回は身の回りにある素材を利用した手作りの太陽熱温水器や雨水利用装置、反射型調理器等の見本を示しながら話しました。

高野さんのお宅で活用している、ペットボトル式温水器は黒塗りしたペットボトルに水を入れ、外気にさらすと夏場の快晴時には、水温が70℃になります(気温35℃)。2リットルのボトル80本(160リットル)を使用すると、省工度は石油換算で、年間200リットル分、金額にすると約5万円程度節約出来るそうです。制作費用は約6万円、寿命は約10年で、2年目から初期投資が回収できるとのことです。

皆さんもこの機会に、是非自然エネルギーを利用してみたら如何ですか。

(石黒)

ガンバってます

18



▲手づくり市民まつりでの竹細工

活動内容は①農作業(ジャガイモ・サツマイモ・そばなど)②各種地域行事に参加(盆踊り・市民祭・パトロール・運動会など)③「稻城雑学大学」の開催

1997年、《会社人間から地域人間に》を合言葉に会は設立されました。青少年育成百村地区委員のOBたちが同委員会の農業体験事業の手伝いをし始めたのが設立のきっかけで、現在は会員、会友あわせて46名が活動しています。

平均年齢は60代後半
でもそのパワーにはビックリ!!

「稻城生涯うでっこきの会」

代表：富永順次郎さん

④子どもたちに「竹細工」の出前教室 などと多彩で、ほとんども土曜日、日曜日に行っています。なんと年間活動日は70日を超え、平均年齢60代後半。ものすごいエネルギーです。そのパワーに超ビックリ!

また、お楽しみ(新年会・お花見会・親睦旅行など)も数多くあり、会員同士のよいつながりを保つ秘訣のようです。

会の規約の目的を読むと、《生涯にわたり生きがいのある生活を送るため、会員相互の親睦を図るとともに地域社会への貢献を積極的に考え、推進する》とあります。これを、文字通り実践している姿勢には脱帽です。「生涯学習に強い意義を感じ、地元の方言で「カ一杯」を表す「うでっこき」を会の名前につけました」と代表の富永さん。

これから地域社会に溶け込みたい、貢献したいと思っいるみなさん。よいお手本があるからとても心強いと思いませんか。詳しくは、ホームページで「うでっこきの会」で検索できます。(廣田)

連絡先…富永
042-3377-7717

粗食を卒業!

老化速度を遅らせるには

栄養改善のキーワードは、肉類・油脂です! 高齢期の健康維持・増進のための食生活を学習しましょう。

- 日時: 9月13日(土) 午後1時30分~
- 講師: 熊谷 修氏 (人間総合科学大学教授)
- 会場: 地域振興プラザ 4階会議室
- 参加費: 300円
- 共催: 特定非営利活動法人 支え合う会 みのり
- 問合せ: 同上 ☎378-8757

理事会

ほうこく

6月9日 定例理事会

◎報告

- ・各プロジェクトの進捗状況報告
- ・利用登録団体の承認
いなぎエコ・ミューゼ

8月は暑い! 暑い! 甲子園では高校野球が熱戦を繰り広げており、北京オリンピックも開催中。連日の猛暑だが闘っている選手たちに、お茶の間でビール片手にガンバれと声援を送っている人が多いのでは? 2016年のオリンピック開催地に東京が立候補しているがこちらも熱い闘いだ。

(稲垣)

編集後記

もっと知り合い交流を深めよう

【NPO講座実技編】

デジカメ写真の活用!

団体やサークル活動の広報担当の方や関心のある方! イベント紹介チラシや、広報紙の紙面づくりに、デジカメ写真を活用しませんか?

サポートセンターではパソコンの文字入力ができる方を対象に講座を開催します。

- 日時: 9月11日/18日/25日(すべて木曜)

いずれも午後2時~4時

- 会場: サポートセンター ミーティングコーナー
- 持ち物: ノートパソコンなど(お持ちでない方は相談に応じます)
- 申込期限: 8月31日
- 参加費: 500円
- 申込み・問合せ先
市民活動サポートセンター いなぎ(協働推進課内)

午後7時~9時

金曜サロンスペシャル

- 9月5日(金)

- ・話し手: 田中 ^{のぼる}昇さん
(ニュージールランド・メスバン市名誉市民、矢野口在住)
- ・テーマ: 「ニュージールランドに魅せられて」

話し手の田中さんは、ニュージールランドスキー教師連盟の国際スキー連盟加盟を手助けしたことがきっかけで、ニュージールランドスキーの父と言われているそうです。

スキーを通じた交流以外にも日本・ニュージールランド文化交流協会や基金の設立にも携わり、両国の文化交流のかけはしをされている田中さんから、ニュージールランドに関するさまざま話を聞いてみませんか。

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています.....年会費3,000円